

市民体育祭ラージボール卓球大会競技規程

- 第1項 参加資格は、さくら市在住又は在勤者で、性別・年齢を問わない。ただし、学生・生徒は出場できない。
- 第2項 ラージボール卓球ルールに準じて行い、使用球は44mm（プラスチック製）オレンジボールとする。
ラージ用ラケット（ツブツブラバー）が望ましいが、特例として初級者、中級者部門は硬式用ラケットも可とする。
- 第3項 初級者、中級者、上級者の3部門とし、各部門において原則として予選リーグと決勝トーナメントを行うが、参加チーム数によっては変更を行う。
組合せは、大会当日の受付時に抽選により決定する。
部門分けは以下のとおり
初級者 「楽しくラージボール卓球を楽しみ、体を動かしたいチーム」
中級者 「経験はあるが、最近では競技から離れていたチーム」
上級者 「強い人と腕試しを行いたいチーム」
- 第4項 1セット11点とし、3セットマッチとする。（サーブは2本交代）
- 第5項 チームは単（シングルス）2名、複（ダブルス）2名、補欠2名、計6名とする。ただし、3名以上であれば試合は成立する。
- 第6項 試合順序は、単・複・単で行い、重複しての出場はできない。
- 第7項 各チームとも、予選リーグは全員が戦う。
- 第8項 チームのユニフォームは袖付きの同一のものが望ましい。
- 第9項 大会審判は主催者が委嘱したものがこれにあたるが、大会運営上都合により、各チームにご協力をお願いすることがある。
- 第10項 異議申し立ては、監督を通じて行なう。
- 第11項 大会中におきた軽微な負傷については、本部で応急処置を行なうが、大会に出場する者は、スポーツ傷害保険に加入すること。
- 第12項 その他、細部については本会議において決定する。

- 付 則 団体戦の人数が4名揃わない場合の試合方法は以下のとおりとする。
（1）3名で試合をする場合は、1番単を棄権とし、2番複・3番単とする。
試合の勝敗が決した後に出場選手が親善試合を行う。